あなたが飲むお薬は
グリメピリド錠「フェルゼン」です

このお薬は、インスリン（膵臓（すいぞう）で作られるホルモンの1つ）の分泌を促進し、血糖*を下げる効果があるため、糖尿病の治療に用いられます。

＊：検査項目としては「空腹時血糖」「食後血糖」「ヘモグロビンA1c（HbA1c）」

グリメピリド錠0.5mg「フェルゼン」	グリメピリド錠1mg「フェルゼン」	グリメピリド錠3mg「フェルゼン」
白色の錠剤 直径:4.5mm　厚さ:2.1mm	淡紅色の割線入り錠剤 直径:6.0mm　厚さ:2.3mm	微黄白色の割線入り錠剤 直径:8.0mm　厚さ:2.8mm

服用方法と服用量

あなたの症状や状態にあわせて決められます。通常は1日0.5～1mgから開始し、1日1回（朝）～2回（朝・夕）、食前か食後に服用します。維持量は通常1日1～4mgですが、経過・症状等に応じて用量を増減することもあります（最高量は1日6mgまでとされています）。

裏面もご覧ください。

株式会社フェルゼンファーマ
FELDSENF PHARMA

服用時の注意点

医師・薬剤師の先生方の指示を必ず守って下さい。

- コップ１杯程度の水 または ぬるま湯で服用して下さい。
- 自己判断で「服用を中止する」「服用量を変える」「薬を変更する」などすると、病状が悪化することがあります。
- 指示された時刻に服用を忘れた場合、その分はやめて（＝1回分とばして）、次の服用時刻から再開して下さい。
- 決して１度に２回分を服用しないで下さい（低血糖など、副作用の原因になります）。
  ※誤って多く飲んでしまったら、直ちに医師または薬剤師の先生に相談して下さい。
- 発熱、下痢、嘔吐がある、食欲などの影響で食事が十分できない時は医師に相談し、指示を受けて下さい。

低血糖について（症状、対処法）

- お薬の作用で「低血糖」（血液中のブドウ糖濃度が基準値よりも低い状態）が起こる可能性があります。　※空腹時、運動時にご注意!
- 症 状 「だるい感じ」「強い空腹感」「冷や汗」「動悸（胸のドキドキ）」
  「手足のふるえ」「頭が痛い／ぼんやりする」「意識が薄れる」など

だるさ・強い空腹感

冷や汗・動悸

手足のふるえ

意識が薄れる

- 対処法　すぐに砂糖かブドウ糖（甘いジュース等）を摂取し、意識が薄れてきた場合は直ちに医師に連絡してください。
  ※αグルコシダーゼ阻害剤（ボグリボース、アカルボース、ミグリトールなど）を併用している時に低血糖症状が認められた場合には必ずブドウ糖を摂取してください。

砂糖かブドウ糖

- <保護者の方へ> ～小児の場合～
  小さいお子様ではご自身で上記の判断・対処ができないため、「低血糖?」と感じる症状がみられたら、砂糖やブドウ糖を摂取させて下さい（改善しない場合は、主治医の先生に診てもらうようお願いします）。